

新造船くろしお丸工期遅延に伴う就航予定日について

新造船「くろしお丸」(写真)については、長崎県の株式会社渡辺造船所に於いて建造を進めて参りました。

去る 9 月 10 日に進水式を執り行い、11 月末の竣工引渡に向けて艤装工事を進めて参りました。

しかしながら、建造造船所の見落としにより、法令上必要な設備が装備されなかったことが原因で工期が約 2 か月弱延伸することとなりました。

現状の計画では、各航路の初就航は下記の通りとなります。

◎小笠原諸島「父島～母島航路」 **令和 4 年 1 月 29 日(土)**(～同 2 月 22 日まで)
……主船「ははしま丸」のドック入渠期間中の代船運航となります。

◎伊豆諸島「八丈島～青ヶ島航路」 **令和 4 年 2 月 28 日(月)(予定)**
……それまでの間、本航路には既存船「あおがしま丸」が就航します。

新造船の就航を心待ちにしていた皆様には、大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒、ご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



(進水式 9 月 10 日)



(現在のくろしお丸:長崎にて)

※なお、就航前の各島・東京に於ける就航レセプションについては、別途お知らせ致します。

以上



「くろしお丸」 全景



ファイナルドックを終えて造船所に曳航される「くろしお丸」です。



船らしい姿にワクワクが止まりません。



艀装工事中②



船体のカラーリングを終了した「くろしお丸」です。船内の艀装工事も終盤となりました。



就航の日が待ち遠しい限りです。



艀装工事中



進水式から1ヶ月が経過した「くろしお丸」です。船内の艀装工事も順調に進んでいます。



ファンネルマーク ～ レッド＝太陽、ブルー＝海、グリーン＝大地 をイメージしています。



ブリッジ（操舵室）周辺のカラーリングは、これからです。



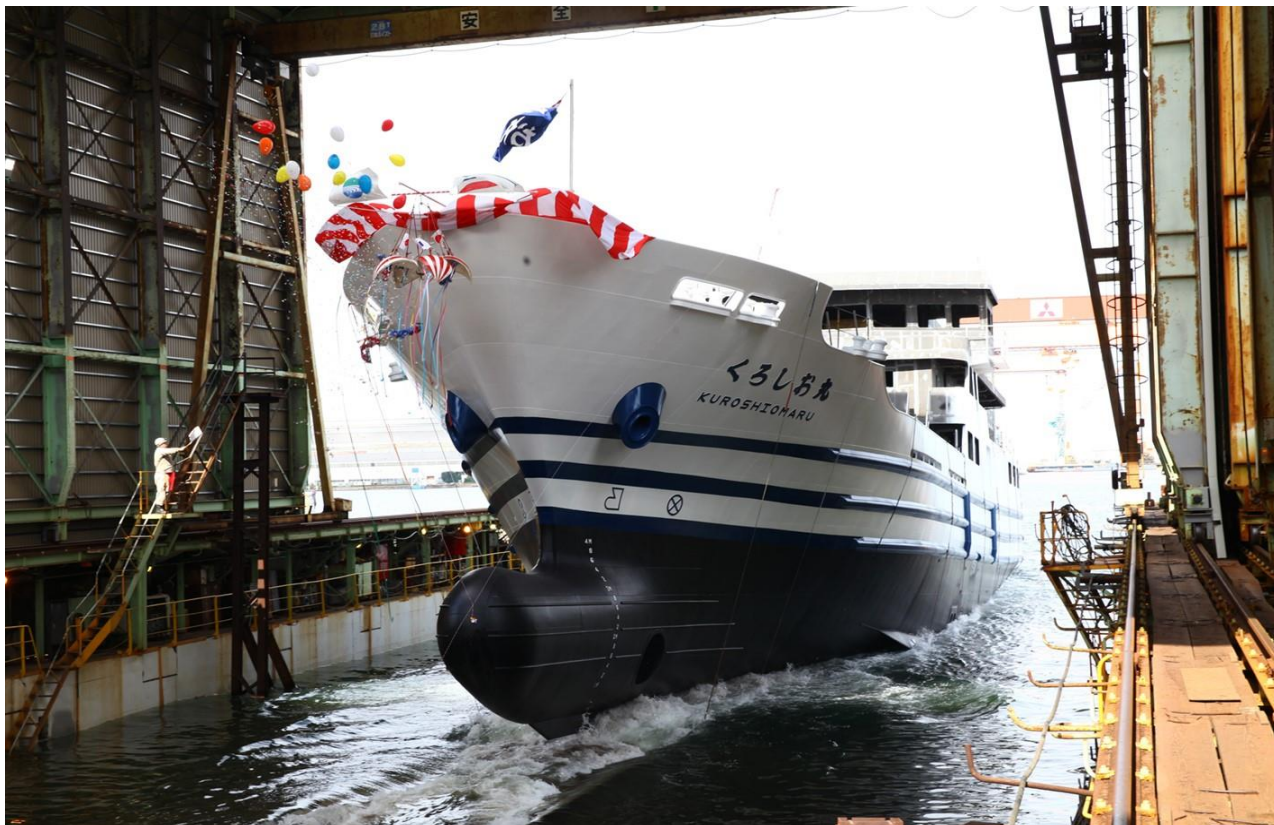
操舵室の中は、まだまだこんな感じです。



進水式



9月10日、「くろしお丸」の進水式を長崎県長崎市の(株)渡辺造船所におきまして執り行いました。



美術家の野老朝雄氏による支綱切断の後、船台から海へ滑り出るくろしお丸。



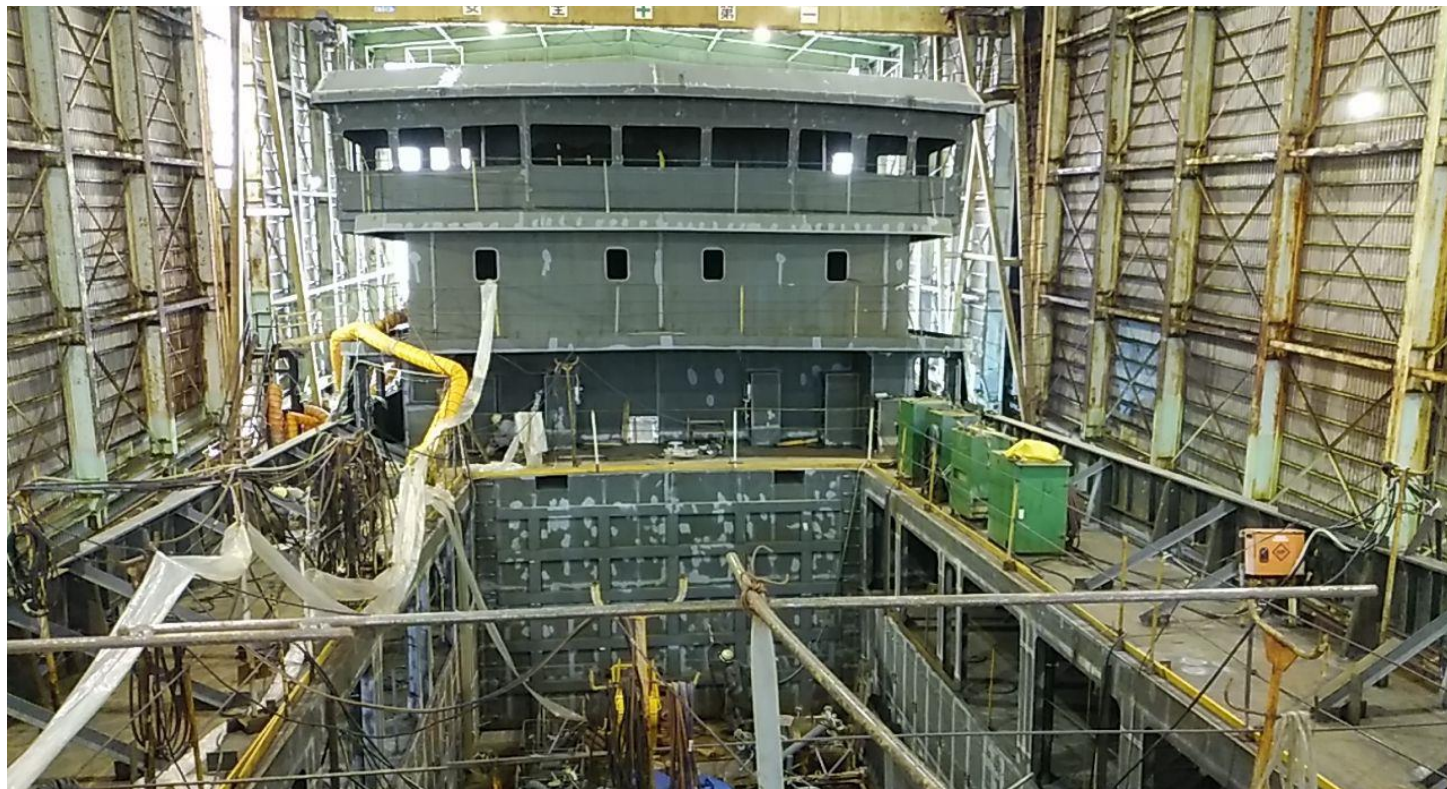
続いて船内の艤装工事と船体のカラーリングが行われます。



ブロック組立（くみたて）④



ブロックを結合する組立（くみたて）の工程も大詰めを迎えています。



ブリッジ（操舵室）も組みあがりました。



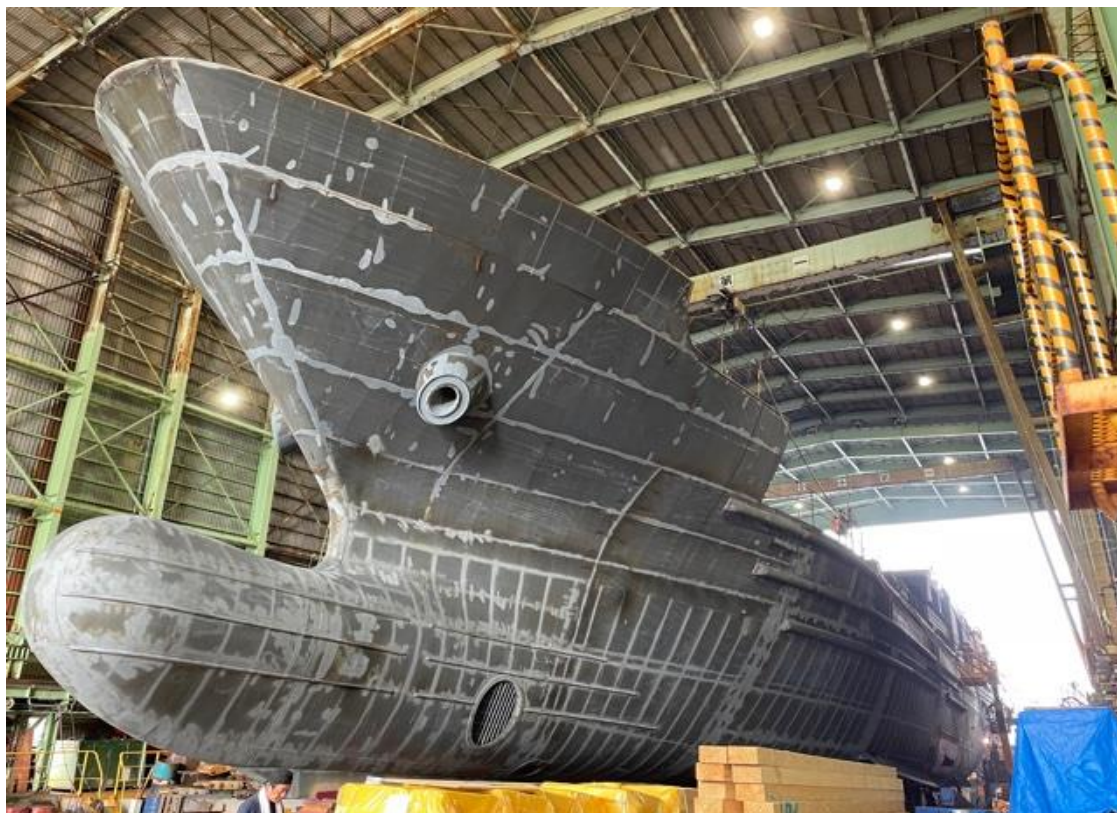
プロペラと舵も装着されました。



ブロック組立（くみたて）③



ブロックを結合する組立（くみたて）の工程も更に進んでいます。



次回は、進水式の様子をご紹介します予定です。





ブロック組立（くみたて）②



ブロックを結合する組立（くみたて）の工程も順調に進んでいます。



大きな丸い穴は、船を横方向に動かすための「バウスラスター」です。



< 船尾全景 >



ブロック組立（くみたて）



長崎県長崎市の(株)渡辺造船所におきまして建造中の新造船「くろしお丸」。

「ブロック建造方式」により進められており、ブロックを結合する組立（くみたて）の段階に入りました。



※写真の上下が結合するとイラストのような船首部分になります。





昇降装置陸上試運転



2021年6月10日に山口県宇部市の㈱山陽ハイテックにおきまして
昇降装置の陸上試運転が実施されました。

エレベーターがある船は、伊豆諸島開発株式会社で初となります。



< 定員4名、 制限荷重300kg >



船底ブロックお披露目



長崎県長崎市の(株)渡辺造船所におきまして建造中の新造船「くろしお丸」。
「ブロック建造方式」により進められており、こちらが船底ブロックになります。



< ブロック建造方式 >

船体を複数のブロックに分けて完成させた後、組立て一隻の船を完成させる建造方式



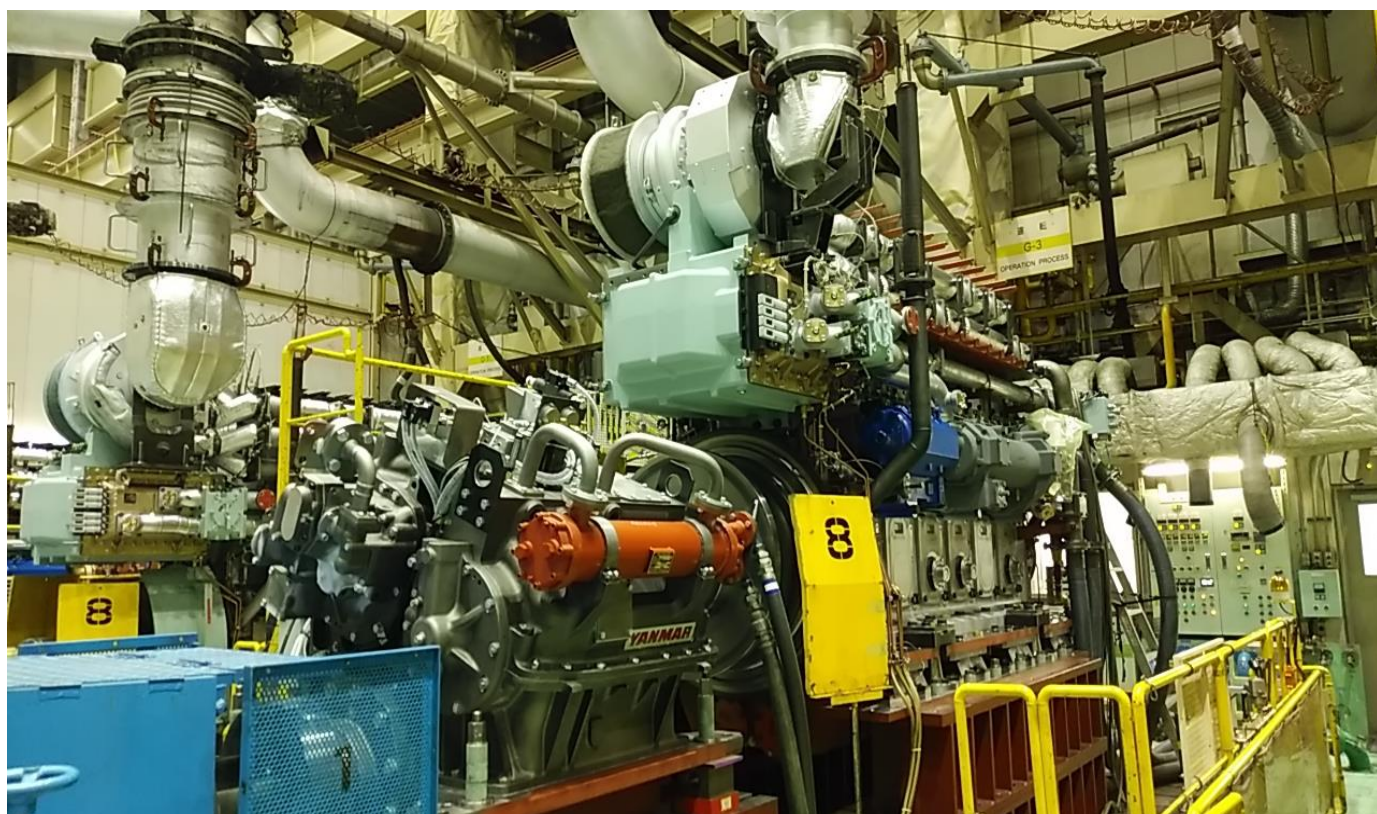
主機関工場内試運転試験



2021年5月12日にヤンマーパワーテクノロジー(株)尼崎工場におきまして、新造船の主機関工場内試運転試験が実施されました。



< ディーゼル2,000馬力×2基 >





CPP（可変ピッチプロペラ）陸上試運転



2021年5月28日にかもめプロペラ(株)横浜戸塚工場におきまして、新造船の可変ピッチプロペラ装置（CPP）の陸上試運転が実施されました。



< 左舷プロペラ全景 >

可変ピッチプロペラは、船の全速から微速、停止、後進の全範囲の運転に対して、翼角の制御だけで前後進の必要な速度が簡単に得られます。



新造船 船名および船体デザインのご案内



船名 「くろしお丸」

伊豆諸島・小笠原諸島近海を流れる「黒潮」からネーミングしています。
黒潮を力強く走り抜け、島々そして人々を「繋ぐ」船として、島民の方々からも愛される船になって欲しいという願いを込めました。

船体カラーリングデザインは、美術家の野老朝雄氏にお願いしました。
東海汽船株式会社の「さるびあ丸」「セブンアイランド結」に続く
「TOKYOアイランドブルー」纏った3作目となります。
全体像は、近日公開しますのでご期待ください。





フィンスタビライザー陸上試運転



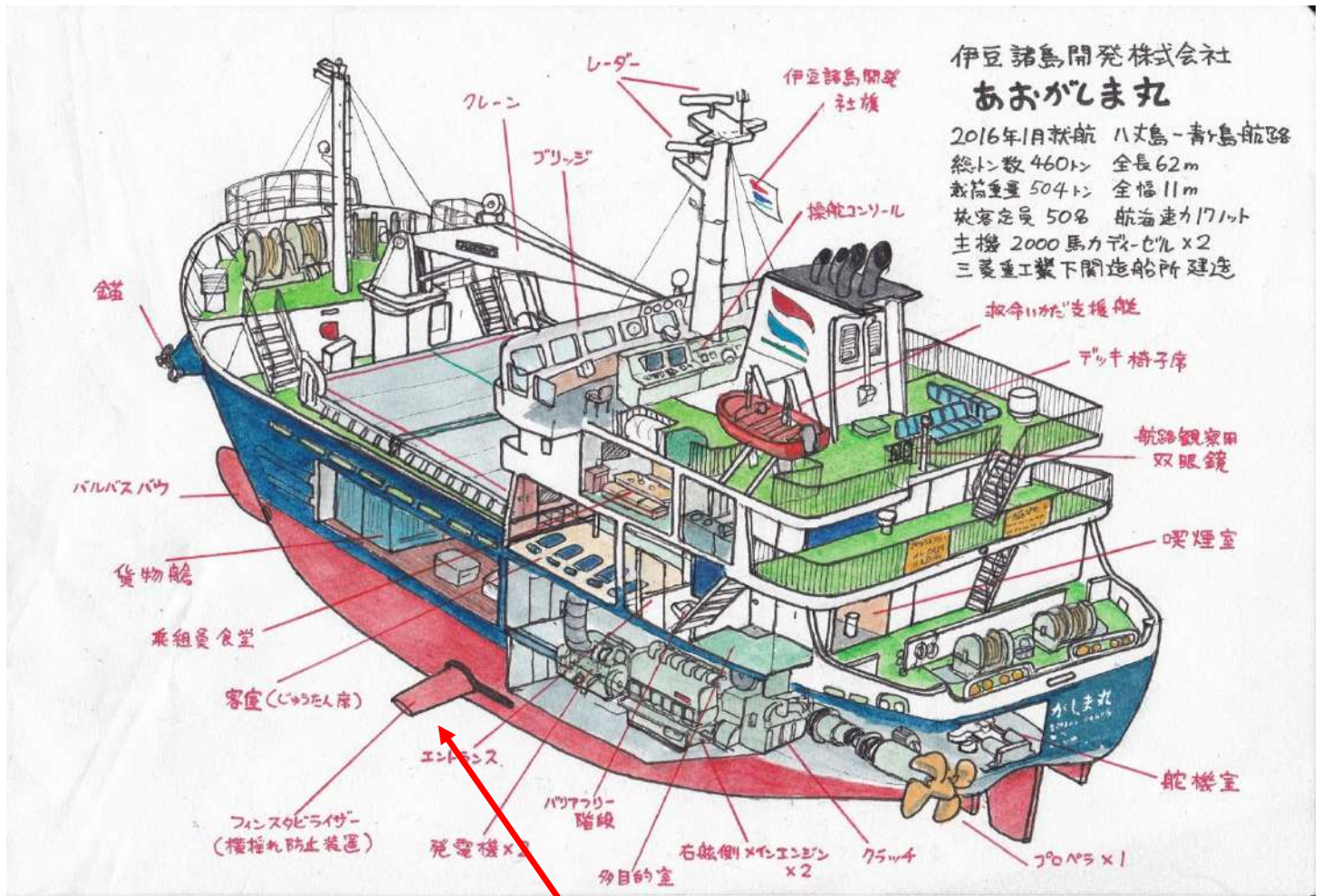
2021年5月10日に長崎県長崎市のMHIマリンマシナリ㈱におきまして、新造船のフィンスタビライザー（減揺装置）の陸上試運転が実施されました。



< 格納した状態 >



< 角度を調整することで船体の横揺れ（ローリング）を減揺します >



< あおがしま丸 船体解剖図 >

この部分です

新造貨客船建造のお知らせ

伊豆諸島 八丈島～青ヶ島航路、小笠原諸島 父島～母島航路を運営する伊豆諸島開発株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:山本忠和)は、予備船「ゆり丸」(写真)に代わる**大型化・高速化・快適性の向上・バリアフリーの充実**などをコンセプトとした新造船の建造に着手します。就航は、令和 3 年 11 月下旬を予定。

この度、3月12日に長崎の渡辺造船所にて
起工式を執り行いました。



【新造船の概要】

- 船舶の種類 貨客船
- 造船所 株式会社 渡辺造船所(長崎市)
- 就航時期 令和 3 年 11 月下旬
- 就航航路 伊豆諸島 八丈島～青ヶ島航路 小笠原諸島 父島～母島航路

【現ゆり丸との比較】

主 要 目	新 造 船	現ゆり丸(平成 10 年竣工)
総 ト ン 数	499トン	469トン
全 長	66.0メートル	62.0メートル
全 幅	12.0メートル	10.8メートル
主 機 出 力	2,000 馬力×2 基	2,000 馬力×1 基
航 海 速 力	16.5 ノット	13.5 ノット
航 海 時 間	3 時間(青ヶ島)2 時間(母島)	3.5 時間(青ヶ島)2.3 時間(母島)
旅 客 定 員	84 名(青ヶ島)200 名(母島)	40 名(青ヶ島)90 名(母島)
貨物コンテナ数	36 個(船内 24+ハッチ上 12)	38 個(船内 20+ハッチ上18)

【新造船の特徴】

- **航海速力 UP、操船性向上**⇒時間が短縮されます。**(高速化)**
- 旅客定員増: 青ヶ島航路40名⇒**84名**、母島航路90名⇒**200名**。**(大型化)(快適性)**
- ハンディキャップルーム、多目的室、授乳席、客席モバイル電源、乗船客が自由に使える冷蔵庫、荷物置きスペース等を新たに設置することで**多様なニーズへ対応**します。**(快適性)**
- エレベーターも装備しトイレをはじめ、法定の**バリアフリーの充実**。

【本リリースに関するお問い合わせ】

〒108-0022 東京都港区海岸三丁目 6 番地 43 号 伊豆諸島開発株式会社

電話:03-3455-3090

ホームページ URL:<http://www.izu-syotou.jp/>

【伊豆諸島開発 新造船 起工式 於:長崎 渡辺造船所 R3.3.12】



第270番船 起工式

